

折に触れ 四字熟語

NO. 100 『百古不磨』 ひゃっこ ふま

< 意味 > ずっと後の世まで滅びずに残ること。

語 釈 : 「百古」は後々の世、非常に長い年月のこと。「不磨」はすり減らないこと。永久になくならない意。

「百世不磨」も類義です。

表 現 : 百古不磨の大典。

一 言 : 百号に因んで

お陰さまでこの「折に触れ 四字熟語」も100号になりました。

出来るだけ世の中の出来事、季節の移ろい等に合わせて熟語を選んできたつもりです。世相は千変万化ですが、それに合った四字熟語が見付かるものです。まさに百古不磨の中国古典があるからこそです。これからも、赦される限り、次の節目200号を目指し継続していきたいと思えます。

参照文献 : 三省堂・新明解「四字熟語辞典」